



2015年1月21日

日本BS放送株式会社  
代表取締役社長 日時 剛 様

公益社団法人 日本建築家協会 (JIA)  
関東甲信越支部 支部長 上浪 寛  
同 保存問題委員会 委員長 安達文宏  
同 千代田地域会 代 表 篠田義男



## 旧文化学院校舎アーチ部分の保存に関するお願い

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

貴社におかれましては、我が国の文化の発展に多面的に寄与されておられ、弊会として敬意を表するものです。

さて先般、学校法人文化学院が神田駿河台から両国へ移転したことを同校のウェブサイトで、また、その跡地と建物は全て貴社が購入された旨を卒業生の同窓会サイト等で拝見しました。

千代田区の「景観まちづくり重要物件」でもあった文化学院の旧校舎の建て替えにあたっては、その旧校舎が、学院の創設者 西村伊作の建築家としての代表作であり、また地域のランドマークでもあるため、ぜひ保存活用して頂きたい旨、私どもから2007年に学院あて要望書を提出しております。日本建築学会等も同様の要望を重ねたところ、文化学院は校舎の最も印象的な要素であるアーチ部分を保存され、今日に至っています。

また、坂倉建築研究所の設計による新校舎部分にも、創設者への敬意を込めたアーチ空間を持つ階段ホールがあり、新旧のアーチが造形的・空間的な共鳴関係を示しています。

今般 所有者の交代があったわけですが、保存されているアーチ部分の持つ歴史的・文化的・景観的価値は、今なお、日を追うごとに希少性とランドマーク性を増しており、「景観まちづくり重要物件」はもちろん、登録文化財にも十分値すると思われれます。

これらの点から、貴社におかれましては、ぜひ地域の文化的遺産として、この旧校舎のアーチ部分を末長く残され、界隈の景観の保全・充実を図って下さいますよう、また機会がありましたら再度「景観まちづくり重要物件」にご応募いただけますよう、ここに切にお願いする次第です。

なお、当協会は、この保存活用に向けて、公益社団法人として出来る限りの協力をさせて頂く所存であることを、ここに申し添えます。

敬具